

口二千六百二十二、戸五百四十六、町十、村六〇中 野付郡、東ハ根室郡、西ハ標津郡、北ハ  
 十三、戸九十八、村四、略 中 標津郡、東ハ野付郡、南ハ釧路國、川上郡、西ハ北、口三百四十五、戸一百零  
 三、村二、略 中 目梨郡、東ハ海、南ハ標津郡、西及ビ、口二百九十七、戸八十四、村四、略 中  
 〔邊要分界圖考〕<sup>四</sup> 邗<sup>テ</sup>弗<sup>ユ</sup>加<sup>フ</sup>考<sup>カ</sup>

東海ウルツプ島ヨリ、前路シモシリ島ヨリ、カムサスカ地方ニ至ル迄、凡十餘島、實ニ流ル世ノ所

謂千島ニシテ、蝦夷人之ヲ稱シテ、チユブカト云、チユブカトハ、日出處ト云ノ義也、蝦夷人ハ、日月

カムイト云、魯西亞國主ヲ稱シテ、チユブカカモイトノト云、魯西亞人ヲチユブト云、共ニ

日出ル處ノ人ト云コト也、一説ニ、初メ、ロシヤ人諸島ニ來ルトキ、夷人ニ語テ曰ク、我國ノ帝王ハ、

イト稱シ、其屬島ヲ、チユブカト云ト亦通ズ、蠻書ニ、紅毛千七百六十八、之ヲクリル諸島ト云、蠻書

カムサスカノ南ノ出崎ヨリ、南西ノ日本ノ方マテ、大小ノ島連續シタルモノ、大凡、ソノ島大ナル

者十六、小ナル者無數、古昔ミナ我蝦夷ノ屬島タリシニ、八十年前、正徳魯西亞人カムサスカヲ併

吞シテヨリ、漸々ニ諸島ヲ蠶食シテ、三十年前ヨリシモシリ迄ヲ服從シテ、其島々ノ名ヲ改メテ

魯西亞ノ名トナシ、二十年前ヨリ、夷人ノ風俗ヲ易ヘテ、魯西亞ノ風俗トナシ、往古ヨリ日本ニ屬

セシ蝦夷人ヲシテ、髮ヲ辮ミ、帽子ヲ被リ、股引ヲ用ヒ、靴ヲ穿テ、鐵炮ヲ與ヘ、魯西亞人ノ言ヲ

使ヒ、魯西亞ノ佛ヲ頸ニカケ、魯西亞ヨリ役人并ニ敎法師ヲシテ、敎法師ヲ夷人ハヨウウ時々諸島

ヘ至リ撫順セシメ、其夷人ヲ悉ク魯西亞ニ貢ヲ入ル、ニ至ラシメ、十年前ヨリウルツプ島ニ到

リテ土著シ、傲然トシテ去ラザルニ至ル、カムサスカハクルムセノ國地ニシテ、本我蝦夷ノ種族

ナリ、其地今魯西亞北海ノ要津トナル、嘆ズベキニ非ズヤ、チユブカ諸島ノ地理、前輩ノ圖書大抵

疎漏少カラズ、天明中、最上常矩嘗テウルツプ島ニ至リ、魯西亞人イシユニケタニ邂逅シテ、其

大略ヲ得タリ、然レドモ未ソノ詳ナルコトヲ得ズ、寛政十二年、守重○近奉命シテエトロフ島ヲ

按察シ、エトロフ島モ古來日本人往シコト更ニナシ、寛政十年、守重始テ此島ヘ渡リシハ、前後日

本人渡海ノ四度目也、其時守重最上常矩ト共ニ此島ヲ見開キ、翌十一年、海路ヲ開キ、十二